

令和8年度 東京都立園芸高等学校定時制課程における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校までの常用漢字の定着を図る指導</li> <li>・毎時間の基本的語彙の学習や短文の発表</li> <li>・単元のまとめを文章化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を活用したプレゼンテーションの実施</li> <li>・作文、小論文の記述</li> </ul>
地理歴史	地理歴史分野の事実の理解だけでなく、それらの情報を多角的に分析し、異なる視点を自ら評価する能力を育成する。異なる視点からの解釈を紹介し、生徒に自分の意見を形成させる機会を提供する。	生徒が興味を持つ歴史的・地理的なテーマを選び、リサーチ、分析、プレゼンテーションを行う。例として、特定の歴史的事件や地理的現象の影響を調べるプロジェクトなど。	ディスカッションとディベート: 歴史的な出来事や地理的な問題について、賛否両論を討論する活動を取り入れる。これにより、生徒は批判的思考や論理的な議論のスキルを身につけることができる。
公民	現代の日本・世界においてどのような課題があるのか、それらの課題はどのような歴史的背景があるのかを様々な資料・史料に基づき、批判的に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字や絵画・写真・グラフなど、さまざまな資料・史料を正確に読み取るようになる。</li> <li>・自ら問題意識を持ち、積極的に学ぼうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代的な諸課題をより深く理解するために他者の意見を聞き、討議を重ねつつ、自らの意見をより客観的なものにできるようになる。</li> </ul>
数学	課題発見・解決を主体的に取り組む姿勢を育む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学を通して論理的な思考を養う指導の工夫</li> <li>・学びなおしの充実</li> <li>・毎授業の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器及び学習アプリ活用</li> <li>・グラフ・統計ソフトなどの活用</li> </ul>
理科	科学の学びを通じて、ADLC教育(農学 agriculture 勤勉 diligence 勤労 labor 市民力 citizenship)をする。多様な命の尊重と大地讃頌の心の醸成および自然生命誌と自然哲学の知の姿勢を体得する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然科学の多様な領域の基礎知識を修得し、課題に対する意見表明が出来るように設定し、取り組む。</li> <li>・主体的な学びの発表の場を設け、実習・観察を取り入れて実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオエシックス(遺伝子操作・脳死等)や持続可能な生態系保全に関する生徒同士での意見発表を実施。</li> </ul>
保健体育	農業に必要な体力をつけるとともに、生涯を通して続けたいと思える運動を見つける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育以外での運動の実施</li> <li>・生活習慣の見直しと改善</li> <li>・繰り返し動作を行い、基本的な動きを身に付ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達同士での教え合いにより、よさや改善点を見つけアドバイスする。</li> <li>・ICTの活用による深い学び</li> </ul>
美術	幅広い創造活動を通して造形的見方・考え方を働かせる。美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と関わる力を養う。	表現や鑑賞を通し、多様な視点から造形の要素・働きを理解し、それを基に意図に応じた表現方法を創意工夫していく。	美術や美術文化を自分との関わりの中で捉え、生活や社会と幅広く関わることを理解し、美を愛好する心・感性を養う。
英語	アウトプットのための指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語での自己紹介</li> <li>・つづりと発音、基礎的な語彙・文法の学び直し</li> <li>・繰り返しの発音練習</li> <li>・オンライン単語教材・スタサプ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTの英語の聞き取りと理解</li> <li>・ALTとのやり取り</li> <li>・生徒同士での対話練習</li> <li>・日常生活に関わる教材</li> </ul>
家庭	生きるための基礎を学び、よりよい生活をめざす	現状の自分の生活課題を発見し、家庭科で得た知識や技術をいかして、また家庭科で培った生活にかかる見方・考え方を働かせて解決方法を考えていく。	個人だけでなく家庭・地域・社会に関する課題や問題を主体的に解決できることを目指す。また、他の人たちと協働することで多様な解決方法を考えていく。

農業	低学年における基礎学力の定着とICT機器の広範な活用	・実習に関する実施内容の正確な記入と自己感受表現を伴ったレポートの記入 ・自ら研究テーマを設定し、研究を進め課題解決に向けた授業を実施	・ICT機器を活用したプレゼンテーション ・eセンシングにおけるデータの活用
----	----------------------------	--	---